

令和7年度第1回横浜市障害者施策検討部会	
にち じ 日 時	令和7年5月30日（金）午後2時00分～午後3時05分
かいさいばしょ 開催場所	市庁舎18階みなと1・2・3会議室
しゅつ せき しゃ 出席者	飯山文子委員 内嶋順一委員 岡村真由美委員 坂田信子委員 清水武彦委員 須山優江委員 奈良崎真弓委員 堀内哲也委員
けつ せき しゃ 欠席者	赤川真委員 小野孝俊委員 河合高鋭委員 安富英世委員
かいさいけい 開催形態	公開
ぎ だい 議題	報告事項 (1)第5期障害者プラン策定にかかるグループインタビュー等の実施について (2)令和7年度感震ブレーカー等設置推進事業及び家具転倒防止対策助成事業のご案内について (3)就労選択支援について
けつていじこう 決定事項	
ぎ じ 議 事	<p>1 開会 (川端係長)</p> <p>定刻になりましたので、ただいまより令和7年度第1回横浜市障害者施策検討部会を開催いたします。本日、司会をさせていただきます健康福祉局障害施策推進課の川端です。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、初めに健康福祉保健部長の片山よりご挨拶を申し上げます。</p> <p>2 障害者福祉保健部長あいさつ (片山部長)</p> <p>皆様、こんにちは。4月より障害福祉保健部長に就任いたしました片山でございます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>事務局を代表して、一言ご挨拶申し上げます。本日はご多忙の中、また、お足元の悪い中、ご出席いただきまして、ありがとうございます。委員の皆様におかれましては、日頃から障害者施策の推進にお力添えをいただきまして、本当にありがとうございます。</p> <p>本日は、第5期障害者プラン策定にかかるグループインタビュー等の実施についてのほか、感震ブレーカーの設置に関することや、家具転倒防止対策の件についてのご案内、あるいは今年度から開始される予定でございます就労選択支援事業についてのご報告を予定してございます。</p> <p>「第5期横浜市障害者プラン」は、令和9年度から令和14年度までの6年間という計画期間を想定しておりまして、7年度から障害当事者の皆様、あるいは関係団体等の皆様へアンケートやグループインタビューなどを実施する予定でございますので、ご協力いただけますようよろしくお願い申し上げます。</p> <p>本日も内容は多岐にわたりますが、各事業を推進していくため、委員の皆様から忌憚のないご意見を頂戴いたしますようお願いいたします。簡単ではございますが、私の挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。</p>

かわばたかかりちよう
(川端係 長)

議事に入る前に、本日のご出席者数の確認をさせていただきます。本日の会議は、委員12名のうち7名がご出席となっております。1名は少し遅れて出席ということでご連絡をいただいております。横浜市障害者施策推進協議会条例第5条第2項に規定されております、委員の半数以上を満たしていることをご報告させていただきます。

それでは、ここからは内嶋会長にご挨拶、議事進行をお願いしたいと思います。内嶋会長、よろしく願いいたします。

うちじまかいちよう
(内嶋会長)

会長の内嶋でございます。こんにちは。外は、この市役所のせいかどうかわかりませんが、ビル風が結構強くて、雨はだいぶおさまってきたのですが、皆さん、足元の悪い中をお集りいただき恐縮でございます。円滑な議事進行に努めてまいりますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

それでは、令和7年度第1回横浜市障害者施策検討部会を始めます。

3 報告事項

(1) 第5期障害者プラン策定にかかるグループインタビュー等の実施について

うちじまかいちよう
(内嶋会長)

次第をご覧になってください。今日は報告事項が3つございます。まず、1つ目の第5期障害者プラン策定にかかるグループインタビュー等の実施について、事務局からご説明をお願いいたします。

なかむらからちよう
(中村課長)

健康福祉局障害者施策推進課の中村でございます。大変恐縮ですが、座ってご説明させていただきます。

お手元の資料1をご覧ください。第5期横浜市障害者プラン策定に向けたグループインタビュー・当事者ワーキングの実施についてでございます。

「第4期横浜市障害者プラン」は、令和3年度～令和8年度の6年間を計画期間としております。計画期間終了に先立ちまして、令和7年度からの「第5期横浜市障害者プラン」の策定に取り組んでいるところです。策定に向け7月以降、当事者、ご家族と障害関係団体等に対しまして、現状やニーズを把握するためのグループインタビューを実施していくということでございます。

また、10月以降、当事者がプランの内容について検討や意見交換を行う、障害者プラン当事者策定検討会を行いたいと考えているところでございます。

グループインタビューでは、(1)のところに記載をさせていただいておりますが、実施予定回数として40回、当事者を約20回、ご家族を対象に約10回、支援者を対象に約10回、トータルで40回の実施を予定しているところでございます。

実施方法^{じっしほうほう}といたしましては、1団体^{だんたい}につき1～2時間^{じかんていど}程度の時間^{じかん}で実施^{じっし}をし、6人^{にんていど}程度のグループ^{ぐるーぷ}に分かれて、現状^{げんじょう}やニーズ^{かん}に関するグループワーク^{ぐるーぷわーく}を行^{おこな}うということを予定^{よてい}しております。

主なインタビュー事項^{じこう}といたしましては、第4期^{だい}障害者^{しょうがいしや}プランの取組^{とりぐみ}の状況^{じょうきよう}についてインタビュー^{いんたびゅー}をするとともに、掲載^{けいさい}をしていない取組^{とりぐみ}についても意見^{いけん}等グループワーク^{ぐるーぷわーく}をしていきたいと思^{おも}っております。また、今後^{こんご}、本市^{ほんし}が力^{ちから}を入れていくべき事項^{じこう}についても意見^{いけん}をちょうだいするとい^{きかい}う機会^{きかい}にしたいと思^{おも}っているところでございます。

2の仮^{かり}：障害者^{しょうがいしや}プラン当事者^{とうじしや}策定^{さくてい}検討会^{けんとうかい}についてでございます。こちら^{こちら}については、障害者^{しょうがいしや}施策^{しやく}推進^{すいしん}協議会^{ぎぎかい}のほうで意見^{いけん}をちょうだいいたしまして、当事者^{とうじしや}の意見^{いけん}が反映^{はんえい}されたプランとなるように、当事者^{とうじしや}で組織^{そしき}する検討^{けんとう}の場^ばをつくるべきだとい^{はなし}うお話を^{お話を}いただきました。そうい^{なか}った中で、「当事者^{とうじしや}策定^{さくてい}検討会^{けんとうかい}」を新た^{あら}に設置^{せつち}していきたいとい^{はなし}うことでございます。

こちら^{こちら}については、当事者^{とうじしや}ワーキングを拡充^{かくじゅう}する形で考^{かんが}えておりまして、当事者^{とうじしや}ワーキングについては、2月^{がつ}の検討会^{けんとうかい}の席^{せき}でもご説明^{せつめい}をさせていただきましたが、日々^{ひび}の生活^{せいかつ}で感じ^{かん}ている困^{こま}り事^{こと}でござい^{かい}ますとか、その解決^{かいけつ}方法^{ほうほう}、その他^{ほか}、横浜市^{よこはまし}の障害者^{しょうがいしや}施策^{しやく}について感じ^{かん}ていること等^{こと}を当事者^{とうじしや}同士^{どうし}で意見^{いけん}交換^{こうかん}をする。また、どうしていい^{けんとう}のか検討^{けんとう}をするとい^{はなし}うことで、ワーキングを設置^{せつち}するとい^{いけんこうかん}うことでございました。意見^{いけん}交換^{こうかん}をして、どうい^{かだい}う課題^{かだい}があるのか、どうい^{いけん}うことをしていい^{いけん}のかとい^{はなし}うご意見^{ご意見}をグループ^{グループ}で話し合^あうとい^{はなし}うことでございましたけれども、そこから一歩^{いっぽ}進^{すす}めた形^{ぎよう}で、プランに関する構成^{こうせい}や内容^{ないよう}についても、この検討会^{けんとうかい}の中^{なか}で意見^{いけん}をちょうだいするよう^{かたち}にしていきたい^{かんが}えているところでございます。

検討^{けんとう}メンバーについては、まだ調整^{ちようせい}を進^{すす}めていない段階^{だんかい}でござい^{みなさま}ますが、皆様^{みなさま}の本^{ほん}日^{じつ}の検討会^{けんとうかい}のご意見^{ご意見}等を踏^ふまえながら進^{すす}めていきたい^{おも}と思^{おも}いますが、事務局^{じむきょく}といたしましては、横浜市^{よこはまし}の身体^{しんたい}障害者^{しょうがいしや}団体^{だんたい}連合会^{れんごうかい}をはじめ関係^{かんけい}団体^{だんたい}の方^{かた}からご推薦^{すいせん}をいただい^{じつし}て実施^{じつし}をしてい^{はなし}ければと考^{かんが}えているところでござい^{はなし}ます。

実施方法^{じっしほうほう}については、1回^{かい}について1～2時間^{じかん}、令和^{れいわ}7～8年度^{ねんど}にかけて4回^{かい}程度^{ていど}の実^{じつし}施^しができればと考^{かんが}えているところでござい^{はなし}ます。障害者^{しょうがいしや}プランの部分^{ぶぶん}を当事者^{とうじしや}の方^{かた}と一緒^{いっしょ}に考^{かんが}えて作^{つく}ってきたいとい^{すいしんきようざい}うことで、推進^{すいしん}協議^{ぎぎ}委員^{委員}の方^{ほう}からいただい^{いけん}たご意見^{ご意見}を踏^ふまえて、このよう^{かたち}な形^{かたち}にさせていただいており^{すす}ます。1回^{かい}あたり18名^{めいていど}程度^{さんか}のご参加^{さんか}をいただい^{すす}て進^{すす}めていければと考^{かんが}えており^{はなし}ます。

次のページ^{つぎ}でござい^{けんとうじこう}ますが、検討^{けんとう}事項^{じこう}ですが、これはあく^{よてい}まで予定^{よてい}ではござい^{はなし}ますけれども、グループ^{グループ}インタビューでござい^{とうじしやむ}ますとか当事者^{とうじしや}向け^{むけ}のアンケート^{アンケート}を、12月^{がつ}以降^{いっしよ}に実施^{じつし}することを予定^{よてい}しております。母数^{ぼすう}としては、大体^{だいたい}障害^{しょうがい}当事者^{とうじしや}の10%^{ていど}程度^{じつし}を実施^{じつし}するとい^{まん}うことで、1万8,000人^{にんていど}程度^{かた}の方^{わさく}を無^む作為^{さく}抽^{ちゅう}出^{しゅつ}してアンケート^{アンケート}を実施^{じつし}する予定^{よてい}でござい^{はなし}ますけれども、そうい^でったところから出^でてきたご意見^{ご意見}等^{えんごう}もこの検討会^{けんとうかい}の中^{なか}で共有^{きようゆう}をして、プランの構成^{こうせい}であるとか内容^{ないよう}についても検討^{けんとう}していきたい^{かんが}と思^{おも}えており^{はなし}ます。それをもつて、障害者^{しょうがいしや}施策^{しやく}検討^{けんとう}部会^{ぶかい}にご

報告をし、さらに様々な方面の方のご意見も伺いながら形づくっていただければと考えているところでございます。説明は以上です。

(内嶋会長)

事務局、ご説明をありがとうございました。本日、欠席の委員もいらっしゃるのですが、あらかじめ欠席委員からこの報告事項について何かご意見を伺っているものがある場合は、事務局からご報告いただきたいのですが、いかがでしょうか。

(川端係長)

本日欠席の鶴見大学短期大学の河合委員より、事前にご意見をいただいております。ヒアリング等ワーキングを行うにあたっては、まず、どういった趣旨でどのように行うのかということをしかり明確にして、説明をし、進めていってほしい、ただし、あまり詳しく説明しすぎるとバイアスがかかって、正しいヒアリングにならないので、その辺も考慮しながら、説明をしかり行っていただきたいとご意見をいただいております。以上でございます。

(内嶋会長)

それでは、会場の委員の皆様から、今のご報告について何かご質問・ご意見があればご発言をいただきたいのですが、いかがでしょうか。それでは、岡村委員からお願いします。

(岡村委員)

当事者からのグループインタビューは、どういうふうに当事者を推薦されるのでしょうか。

(内嶋会長)

グループインタビューの選抜方法というか、どうやって選んでいくのか、その選び方ということでしょうか。事務局、何かコメントがあれば。

(中村課長)

先ほどご説明しましたように、当事者、ご家族、支援者それぞれ、20回、10回、10回ということで、トータル40回の予定をしておりますが、これから障害関係団体の方にお声がけをして、団体のほうからお声がけをいただくということを考えております。団体にくみされない方もいらっしゃると思いますので、そういった方々の意見もしっかりといただけるように、地域活動ホームとか生活支援センターとか、そういった障害施設をご利用されている方を通じて意見を聞いたり、あとは就労支援センターとか、就労の部分で支援をさせていただいている機関で、関わっている方の意見を聞いたりということで、施設を通じて意見聴取もしていきたいと考えております。

(内嶋会長)

岡村委員、今の説明でよろしいですか。

(岡村委員)

はい。

(内嶋会長)

ほかにご質問・ご意見はいかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、次第、3の(1)はこれで終了ということで、続いて(2)令和7年度感震ブレーカー等設置推進事業及び家具転倒防止対策助成事業のご案内について、事務局からご説明をお願いします。

(2)令和7年度感震ブレーカー等設置推進事業及び家具転倒防止対策助成事業のご案内について

(海野 係 長)

総務局地域防災課の海野と申します。以降、着座で失礼いたします。

資料2をご覧ください。令和7年度感震ブレーカー等設置推進事業及び家具転倒防止対策助成事業のご案内についてご説明させていただきます。

まず、1趣旨でございますが、災害時における自助・共助の取組として、令和7年度感震ブレーカー等設置推進事業及び家具転倒防止対策助成事業について情報提供をさせていただきます。

2補助・助成制度等の説明になりますが、まず(1)感震ブレーカー等設置推進事業でございます。以下の要件を満たす世帯を対象に、感震ブレーカー(簡易型)の「取付代行」支援を実施しています。令和7年度からは、「イ 制度概要」の【器具代補助額】にもございますが、重点対策地域に限って、「器具代」を全額助成いたします。

続いて、ア 取付支援対象者でございますが、同居者全員が下記の①～⑥のいずれかであることとなっております。まず①65歳以上、②身体障害者手帳の交付を受けている、③愛の手帳(療育手帳)の交付を受けている、④精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている、⑤介護保険法による要介護、または要支援の認定を受けている、⑥中学生以下となっております。同居者全員が記載の①～⑥いずれかであることが要件となっておりますので、ご確認をお願いいたします。

続いて、イの制度概要ですが、申請期間は、令和7年6月1日から令和8年1月31日までとなっております。

申請対象ですが、世帯ごととなっております。

続いて、器具代補助額ですが、重点対策地域は全額補助となっております。その他地域については一部補助となります。

続いて、取付支援は、市内全域で行います。先ほど記載のあったとおり、高齢者・障害者等のみで構成される世帯が対象となります。

続いて、申込方法ですが、郵送、FAX、E-mail、電子申請で受け付けをいたします。詳細につきましては、別紙の赤いチラシをご確認いただければと思います。先ほどの重点対策地域、またその他地域は、地図、一覧等で記載をしておりますので、後ほどご確認いただければと思います。

続きまして、(2) 家具転倒防止対策助成事業になります。こちらでも以下の要件を満たす世帯を対象に、「家具転倒防止器具の取付代行」助成を実施しています。令和7年度から「取付代行」に加え、新たに「器具代」の全額、または半額を助成いたします。

アの対象者ですが、先ほどの感震ブレーカーと同様、同居者全員が下記①～⑥のいずれかであることとなっております。

続いて、イの制度概要になります。申請期間は、令和7年6月1日から令和8年1月31日までとなっております。

申請対象としては、世帯ごとで申請が可能となっております。

申請要件につきましては、先ほどと同じように、高齢者・障害者等のみで構成される世帯となっております。

器具代補助額も先ほどと同様となっておりますが、重点対策地域は全額補助、その他地域については半額を補助いたします。

申込方法につきましては、郵送、FAX、電子申請となっております。また、こちらの詳細は、青いチラシの家具転倒防止対策のチラシをご確認いただければと思います。先ほどと同様、重点対策地域、またその他地域も同様の範囲となっておりますので、よろしく願いいたします。簡単ですが、説明は以上となります。

(内嶋会長)

ただいま報告がありました感震ブレーカー、家具転倒防止対策等々のご案内について、何か委員の皆さんからご意見・ご意見があれば承りますが、いかがでしょうか。よろしいですか。

ご案内ということなので、関係団体にも周知をしていただければありがたいと存じます。

それでは、特にご意見・ご質問がないということであれば、報告事項の最後の(3)就労選択支援についてに移りたいと思いますので、事務局からご説明をお願いいたします。

(3) 就労選択支援について

(野口係長)

障害施設サービス課の野口と申します。私のほうからは資料3の就労選択支援についてを説明いたします。座ってご説明させていただきます。

障害者総合支援法の改正に伴いまして、新たな障害福祉サービスとして、「就労選択支援」が創設されます。令和7年10月からサービス提供開始となる「就労選択支援」について、制度概要等を報告させていただきます。

1番の就労選択支援の趣旨でございます。就労選択支援は、障害者本人が就労先・働き方についてよりよい選択ができるよう、就労アセスメントの手法を活用しまして、本人の希望、就労能力や適性等に合った就労系障害福祉サービスや、一般就労への移行といった就労に関する選択を支援するものでございます。

2番の対象者になります。就労移行支援、または就労継続支援の利用を新たに希望する方及び現在就労移行支援、または就労継続支援を利用している方を対象としているサービスになります。令和7年10月以降については、新たに就労継続支援B型の利用を申請する前に、原則として就労選択支援の利用が必要となります。

具体的には次ページの表をご覧くださいと思います。まず、就労継続支援B型になりますが、真ん中にございます新たに利用を希望する方については、令和7年10月から、「原則利用」となります。ただし、左側の列に書かせていただきましたが、以下①・②の方は除くということで、下記の①・②をご覧ください。

①としまして、50歳に達している方、または障害基礎年金1級受給者、②としましては、就労経験がある方。就労経験がありまして、年齢や体力の面で一般企業に雇用されることが困難になった方については、「希望に応じて利用」という形になります。50歳未満の方で①・②に該当しない方、たとえば特別支援学校の生徒の方々については、新たに就労継続支援B型を利用する場合には、令和7年10月から就労選択支援の利用が「原則利用」となります。既に就労継続支援B型を利用しており、支給決定の更新を希望する方については、「希望に応じて利用」となっております。

その下に書かせていただきましたが、就労継続支援A型につきましては、令和9年4月から、新たに就労継続支援A型を希望する方については、原則就労選択支援の利用が必要になります。継続で利用することを希望される方については、「希望に応じて利用」という形になっております。

次のページをご覧ください。就労移行支援についてです。新たに就労移行支援の利用を希望する方については、希望に応じて就労選択支援を利用していただく形になります。就労移行支援を既に利用しておりまして、支給決定の更新を希望する方、具体的には標準利用期間（2年）を超えて更新を希望する方については、一番右の列になりますが、令和9年4月から、原則就労選択支援の利用が必要ということになります。

続きまして、就労選択支援の内容についてです。まず、(1)としまして支援内容になります。就労選択支援の事業所において行う支援内容としては、これから説明させていただく①～④の支援内容になります。

①としまして、アセスメントです。短期間の生産活動等を通じまして、ご本人の就労に関する適性、知識、能力の評価並びに就労に関する意向等の整理を行います。

②としまして、多機関連携によるケース会議でございます。①のアセスメント結果の作成にあたりまして、利用者ご本人及び関係機関の方を招集しまして、利用者の就労に関する意向確認を行うとともに、関係機関の担当者の方々からの意見聴取を実施するというものになります。

③としましては、アセスメント結果（アセスメントシート）の作成です。ケース会議等での意見も踏まえましてアセスメント結果を作成していきまして、次のページの④と書いてある事業者等との連絡調整ということになります。それらの結果を踏まえまして、必要に応じて関係機関等との連絡調整を実施することになります。

こちらに「連絡調整を実施」と書いてございますが、就労選択支援の事業所としましては、就労系のサービスをあつせんしたり振り分けをするというものではございませんので、あくまでもご本人の選択を支援していく、一緒に将来の働き方を考えていくというのが今回のサービスの趣旨になってございます。そのため、就労の可否や利用すべきサービスを決定するというものではないということになります。

(2)の支給決定になります。他の障害福祉サービス同様、就労選択支援を利用する場合には、区役所でのサービス支給決定が必要になります。就労選択支援の支給期間は原則1か月となっておりますので、1か月間の中で、先ほどご説明させていただきました①～④のサービスについて提供していくというのが基本的な流れになってございます。

4番は今後のスケジュールになります。予定を記載させていただきました。今年5月から7月にかけて、支給決定をする区役所や関係機関の皆様との調整をさせていただいているところでございます。来月6月末までに、10月に開設希望をする事業所の皆様の指定に向けての事前相談の受け付けをさせていただいております。本日ちょうど、法人の方々にはご案内をさせていただいたところでございますが、事業所の事前相談については6月末までに受け付けをさせていただきまして、8月末に、10月の指定をとるためには申請書を出していただくのですが、そちらに向けて事前相談を行っていきたくと思っています。米印で書かせていただきましたとおり、就労選択支援の利用を希望する方々からの申請書の各区役所への提出時期等については、現在調整させていただいているところになります。私のほうからのご説明としては以上になります。よろしくお願いします。

(内嶋会長)

ありがとうございました。ただいまご説明がありました就労選択支援、新しい障害福祉サービスになりますが、これについてご質問・ご意見のある委員の方はご発言をお願いしたいのですが、それでは清水委員、ご発言をお願いします。

(清水委員)

瀬谷支援学校校長の清水です。今の説明の中で、支援学校の生徒もこれに該当するという説明があったように思うのですが、今まで、支援学校を卒業する際、とりあえず就労継続支援B型を最初にサービスするということなのでB型の話をさせていただきますが、特にそういう支援サービスといいますか、判断を仰ぐことはなく、学校と事業所の間で現場実習を通して卒業後の進路先を決めていくことが多かったのですが、この制度を利用しなければ、例えば就労継続支援B型を利用できないという縛りがあるわけではないということでもよろしいですか。

(野口係長)

今回報酬改定で新たに策定されました就労選択支援については、基本的には就労継続支援B型を利用する場合には必ず必要になってくるものになります。就労選択支援事業所が作成したアセスメント結果については、就労継続支援B型を支給決定する際に必要になってくるものになってございますので、就労選択支援のサービスについては原則必要になってございます。

ただ、国のほうも、除外といいますか、そういった要件も示しておりまして、例えば就労選択支援の事業所が近隣にないですとか、近隣にあったとしても待機期間が生じている場合については、従来の就労アセスメントという仕組みがございまして、そちらのほうを使って就労継続支援B型を利用することも可能と示されておりますので、本市としましても、就労アセスメントの運用についてはこれまでどおり継続していきたいと思っております。

(清水委員)

周知については今どんな感じで進められているのか、教えていただいてもよろしいですか。

(野口係長)

	<p> いま きょういくいいんかい はなし こんご とくべつしえんがっこう こうちようかい 今、教育委員会とも話をしております、今後、特別支援学校の校長会といったところにお邪魔しましてご説明をさせていただきたいと思っています。また、進路対策研究会ですとか、そういった進路対策の先生方とも意見交換をさせていただきながら、制度の運用については調整させていただきたいと思っております。 </p> <p> しみずいいん (清水委員) </p> <p> しんろたいさくけんきゅうぎかい けんりつ がっこう で おお 進路対策研究協議会は県立の学校も出させていただいているのですが、大きくはそこで周知されていくということですね。 </p> <p> もう一点、アセスメントの期間はどれぐらいになるか、もしわかれば教えていただきたいのですが。 </p> <p> のぐちかりちよう (野口係長) </p> <p> きほんてき しゅうかん そうでい くに つうち たんしゅく 基本的には2週間ということで想定はされておりますが、国からの通知では、それを短縮して、例えば5日間程度で行うことも想定されるということになっておりますので、最小でいけば5日間程度で就労選択支援事業所のアセスメントが行われるということになります。 </p> <p> うちまかいちよう (内嶋会長) </p> <p> しみずいいん 清水委員、よろしいですか。 </p> <p> しみずいいん (清水委員) </p> <p> だいじようぶ 大丈夫です。 </p> <p> うちまかいちよう (内嶋会長) </p> <p> ほかにかがでしうか。では、ほりうちいいん ねが ほかにいかがでしょうか。では、堀内委員からお願いします。 </p> <p> ほりうちいいん (堀内委員) </p> <p> ちいきかつどう れんらくかい ほりうち すうてんおし わたしじしん しゅうろういこう じぎょうしょ 地域活動ホーム連絡会の堀内です。数点教えてください。私自身が就労移行の事業所の管理者を6、7年前にやっていて、そのときの情報と混同しているかもしれないので、確認を含めて、一から教えてください。 </p> <p> まず、先ほど清水委員からお話のあった、B型のときに、直Bというか、就労移行のところでアセスメントをやって、Bに直接ではなくて、そこを挟んでねというのが当時だったかと思うのですが、それにかわるものという大まかな解釈でいいのですか。 </p> <p> のぐちかりちよう (野口係長) </p> <p> おお い かたち かんが かま 大まかに言えば、そういった形で考えていただいて構いません。 </p> <p> ほりうちいいん (堀内委員) </p> <p> とうじ こうこう ねんせい きぼう あきじっしゅう なに じっしゅう 当時、高校3年生のときにBを希望しているときには、秋実習か何かのときに、実習という名のもとに就労アセスメントを行うという形をとっていたかと思うのですが、在学中にそういう形でとるのか、それとも卒業後に就労選択支援事業所を挟むのかというのは、どんな設計でしょうか。 </p> <p> のぐちかりちよう (野口係長) </p> <p> しゅうろうけいぞくしえん がた きぼう かた ざいがくちゅう しゅうろうせんたくしえん りよう 就労継続支援B型を希望される方については、在学中に就労選択支援を利用させていただいて、最終的に就労継続支援B型に行かれるかどうかも含めて、進路をお考え、決定していただくという形になります。 </p> <p> ほりうちいいん (堀内委員) </p>
--	---

就 労 選 択 支 援 を 実 施 さ れ る 事 業 所 の 想 定 と い う か 、 多 分 、 単 独 運 営 で は な い か と 思 う の で す が 、 ど う い っ た と こ ろ に 依 頼 、 設 置 を し て い く 想 定 か を 教 え て い た だ け ま す か 。

(野口 係 長)

国 の ほ う の 要 件 が ご ざ い ま し て 、 就 労 継 続 支 援 を 営 ん で い る 、 ま た は 就 労 移 行 支 援 を 営 ん で い て 、 過 去 3 年 間 に 3 人 以 上 、 例 え ば 一 般 企 業 就 労 に つ な げ て い る と い っ た 実 績 が あ る 事 業 所 が 、 こ の 就 労 選 択 支 援 の 実 施 主 体 に な る と 要 件 が 決 ま っ て お り ま す の で 、 今 堀 内 委 員 が お し ゃ っ て い た だ い た と お り 、 既 存 の そ う い っ た 実 績 の あ る 事 業 所 に 就 労 選 択 支 援 の 指 定 を と っ て い た だ く と い う 形 に な り ま す 。

(内嶋 会 長)

堀 内 委 員 、 よ ろ し い で す か ね 。 そ れ で は 、 奈 良 崎 委 員 か ら ご 発 言 を お 願 い し ま す 。

(奈良崎 委 員)

ま ず は 、 遅 く な っ て す み ま せ ん で し た 。 奈 良 崎 で す 。 1 点 だ け 質 問 で す が 、 住 ま い は 神 奈 川 県 、 働 い て い る と こ ろ が 現 在 横 浜 で と い う の は 使 え る の で す か 。 逆 も あ っ て 、 働 い て い る 場 所 が 、 例 え ば 藤 沢 で 働 い て い る と い う の は 使 え る の で し ょ う か と い う の を 聞 き た い で す 。

(野口 係 長)

回 答 と し ま し て は 、 使 え ま す 。 横 浜 市 に 在 住 さ れ て い る 方 が 県 外 の 事 業 所 を 使 う こ と も 想 定 さ れ ま す し 、 県 域 に お 住 ま い の 方 が 横 浜 市 の 事 業 所 を 使 う こ と も 想 定 さ れ ま す 。

支 給 決 定 に つ い て は 、 そ れ ぞ れ お 住 ま い の 市 町 村 、 横 浜 で あ れ ば 区 役 所 の ほ う で 、 必 要 性 を か ん が み て 支 給 決 定 し て い く と い う 形 に な っ て き ま す 。

(内嶋 会 長)

奈 良 崎 委 員 、 今 の 回 答 で 大 丈 夫 で す か 。 ほ か に は い か が で す か 。 そ し た ら 、 飯 山 委 員 か ら ご 発 言 を お 願 い し ま す 。

(飯山 委 員)

横 浜 知 的 障 害 関 連 施 設 協 議 会 の 飯 山 で す 。 イ メ ー ジ が 全 然 わ か な い の で す が 、 計 画 相 談 は こ こ に ど う い う ふ う に 関 わ っ て き て 、 就 労 を し て い て も 、 そ れ か ら 就 A だ っ た り 就 B だ っ た り し て も 、 制 度 と い う か 、 そ の 事 業 を 出 たり 入 っ た ら 入 っ た 方 は き っ と い ら っ し ゃ る と 思 う の で す が 、 そ う い う 人 は ど う い う 時 点 で こ れ を 使 っ た ら い い の か 。 私 が わ り と 軽 度 の 方 を 見 て い た と き に 、 特 別 支 援 学 校 か ら 、 た ま た ま 実 習 で う ま く い っ て し ま っ た の で 、 何 に も わ か ら な い で ぼ ん と 就 職 し て し ま っ た け れ ど も 、 実 際 に 働 き 始 め た ら う ま く い か な く て 、 数 週 間 、 数 か 月 で ド ロ ッ プ ア ウ ト し て し ま っ た り す る 人 が 結 構 い る の で す 。

そ う い う 人 は 就 労 選 択 支 援 に 入 れ ば い い な と 思 う の で す が 、 本 人 が 一 般 就 労 に す ぐ こ だ わ っ て し ま っ て 、 そ れ か ら 、 ず っ と 一 般 就 労 し て い た 方 が ち ょ っ と ド ロ ッ プ ア ウ ト し か け た と き に 、 グ ル ー プ ホ ー ム な ど を 使 っ て い る の で 、 周 り で 見 て い て 、 計 画 相 談 や 就 A と か 就 B が い い の で は な い か な と 思 っ て も 、 プ ラ イ ド の 問 題 で 本 人 が 一 般 企 業 に こ だ わ る 方 も 結 構 い ら っ し ゃ る 。 そ う い う 人 た ち は 、 き っ と 就 労 選 択 支 援 の 事 業 を 使 う の を す ぐ 拒 否 す る だ ろ う な と イ メ ー ジ す る の で す が 、 そ う い う 人 た ち は こ こ に ど う い う ふ う に 関 わ っ て い っ た ら い い の か 、 と い う の が あ り ま す 。

(野口 係 長)

就 労 選 択 支 援 の 支 援 期 間 中 の 計 画 相 談 の 方 々 の 関 与 と い う こ と へ つ き ま し て は、 ま ず
多 機 関 連 携 に よ る ケ ー ス 会 議 と い う の が ご ざ い ま す の で、 そ ち ら の ほう に 参 加 し て い た だ き な が
ら、 ア セ ス メ ン ト 結 果 を 就 労 選 択 支 援 事 業 所 が 共 有 し ま す の で、 そ れ ら を 踏 ま え て、 ご 本 人 の
就 労 先、 進 路 先 と い う こ と へ つ き ま し て 一 緒 に 検 討 い た だ く と い う こ と が あ る か と い っ た い 思 い ます。 そ
れ ら を 踏 ま え ま し て、 実 際 ど う い っ た 障 害 福 祉 サ ー ビ ス 事 業 所 を 使 っ て い く の か に つ い て は、
サ ー ビ ス 等 利 用 計 画 も 含 め ま し て 検 討 し て い た だ い て、 通 所 先、 進 路 先 を 一 緒 に 調 整 い た だ く
と い う 形 が 想 定 さ れ て お り ます。

今、 飯 山 委 員 の お っ し ゃ っ て い た だ い た、 ご 本 人 の 思 い が 強 い 方 も い ら っ し ゃ る か と い っ た い 思 い ます。
就 労 選 択 支 援 の ほう は、 先 ほ ど 申 し 上 げ た よ う に 支 給 決 定 期 間 は 1 か 月 で す け れ ど も、 な か な
か ご 本 人 の 意 向 が 強 い と か、 ご 本 人 の 精 神 症 状 も 含 め て ア セ ス メ ン ト に 時 間 を 要 す る 場 合 に
は、 2 か 月 間 使 え る も の に な っ て お り ます。 ま ず は ご 本 人 自 体 が 就 労 選 択 支 援 を 希 望 し て い た
だ く こ と が 必 要 で は あ る の で す け れ ど も、 そ の 中 で 丁 寧 に ア セ ス メ ン ト を し て い く と い う こ と は
想 定 さ れ て い る 事 業 に な り ま す の で、 関 係 機 関 の 方 々 も、 こ の 事 業 を ご 本 人 が 希 望 し て い た だ く
と い う こ と を サ ポ ー ト し て い た だ く 形 で お 願 い で き れ ば と い っ た い 思 い ます。

(飯山委員)

み ん な そ ん な い い 子 ば か り で は な い と い っ た い 思 い ます。 ご め ん な さ い、 ち ょ っ と 言 葉 は 適 切 で
は な い の で す が、 関 係 機 関 が 関 与 し て、 本 人 も 働 き た い と い う 意 欲 は あ っ た り す る の で、 こ う
い う こ と へ ち ゃ ん と 使 っ て や っ て い か な い と だ め だ よ と い う の は 言 っ た と し て も、 あ え て 言 葉
を 選 ば ず に 言 え ば、 品 行 方 正 な 障 害 者 ば か り で は な い の で、 そ う い う 人 た ち は 結 構 い ます。 そ
う い う 人 た ち に ど う や っ て 入 っ て い っ た ら い い の か。 ご め ん な さ い、 本 当 に 言 葉 は 適 切 で な い の
で す け ど、 制 度 に 乗 っ て ほ し い と い う か、 乗 ら な い と ま ず い の で は な い か と い っ た い 思 い ます。 制 度
を 拒 否 し て し ま う と い う か、 で も、 働 く と か ど っ か へ 行 く ん だ と か、 そ う い う 思 い だ け は あ る よ
う な ……、 こ れ 以 上 言 う と 誤 解 を 招 き そ う で す け ど。 例 え ば、 事 業 所 で い え ば、 あ ゆ み に い る よ
う な 利 用 者 と か、 ぶ ど う の 実 で わ り と 軽 度 で 卒 業 し て い く 方 と か、 児 童 養 護 施 設 か ら 出 て い ら っ
し ゃ る 方 と か、 そ う い う 方 た ち は 最 初 な な か な 障 害 の 制 度 に 乗 り づ ら く て、 ド ロ ッ プ ア ウ ト し
て い っ て し ま う こ と が 多 く て、 と て も 心 を 痛 め る の で す が、 こ う い う の に う ま く は ま れ ば い い
な と い っ た い 思 い ます、 こ の 制 度 に は ま る の か な と ち ょ っ と 思 っ た 次 第 で す。

(野口係長)

7 年 度 か ら は、 就 B の ほう に い く と き に は 就 労 選 択 支 援 の 利 用 が 必 要 に な っ て く る と い う こ
と に な る の で す が、 そ も そ も 制 度 の 趣 旨 と し て は、 就 B に い く た め の パ ス ポ ー ト を 出 す と か そ う
い う こ と で は な い と い う こ と が あ り ま す の で、 一 般 就 労 も 含 め ま し て、 あ ら ゆ る 選 択 肢 を 一 緒
に 考 え て い け る と い う サ ー ビ ス で あ る こ と は、 利 用 者 の 方 に 関 係 機 関 の 方 も き ち ん と ご 説 明 い
ただ け る よ う に、 こ ち ら も 関 係 機 関 の 方 々 へ の 周 知 は き ち ん と 行 っ て い きたい と い っ た い 思 い ます。
そ の 方 が 実 際 就 労 選 択 支 援 事 業 所 を 使 っ て い た だ く か ど う か と い う の は、 確 か に、 な か な
か 難 し い 部 分 も あ る か と い っ た い 思 い ます。 ひ と ま ず 関 係 機 関 の 方 々 に は、 そ う い っ た 制 度
が 始 ま る と い う こ と 自 体 は、 横 浜 市 と し て は き ち ん と 制 度 の 趣 旨 を 周 知 し て い きたい と い っ た い 思 い ます。

(内嶋会長)

いいやまいいん いま た
飯山委員は今ので足りですか。

(飯山委員)

はい、いいです。ありがとうございます。

うちじまかいちょう
(内嶋会 長)

では、須山委員からご発言をお願いします。

すやまいいん
(須山委員)

はまなんちょう すやま
浜難 聴の須山です。この就 労支援というのが私 もよく理解できていないのですが、聞いた話 ですが、例えば、今年高校を卒業して、障害者雇用で就 職 したお子さんがいるのですけれど、その子は軽度の発達障害で、いろんな重度の方もいる中で、ちょっと上司との関係が合わないとか、発達障害のその子に上司がこうしなさいあしなさいというのだけれども、その子にとってみれば、それに反発するとか、嫌だとか、そういうふうなことを言ってしまうと上司との関係がうまくいかない。今は我慢してやっているけど、家に帰って、親御さんに今日も上司とけんかしてしまったとこぼすらしいのです。そういう状 況 で、親御さんにしてみれば、そんなに嫌だったらやめればと言っているらしいのですけれど、本人はまた新たにしごと さがす手間とか、履歴書を書いたりとか、そういうのはあなたは自分でやりなさいと、親は突き放しているみたいです。それがいやで、そういうことが自分自身でスムーズにできないせいもあるのだらうけれど、今我慢して働いている状 況 と聞いています。

そうした場合、こういうのに相談して一般企業に移行した場合、そういう障 害特性を理解して企業に入れるのか。ただ就 職 を新たに紹介して入れるとかいうのではなくて、そこの中の人間関係とかいろいろあると思うので、そういうのをちゃんと理解してそういうところにつなげていってもらえるのか。そういったこともちょっときになるところですけど、そういうところの支援はやっていただけるのでしょうか。私もこの仕組みがよくわかっていないのですけれど、そこをお聞きしたい。

じつさいは しょうがい
実際は、障 害をもっている子どもたちは、上から命令されても、反発したり、嫌だけれど我慢している子はたくさんいると思うのです。それで、辞めてもすぐ次の仕事は見つからないし、これが次の仕事へうまく継続して新たに就 職 できればいいけれど、できなかった場合も考 えると、どうなのかなと思ってしまいますのですけれども、いかがでしょうか。

のぐちかかりちょう
(野口係 長)

たし いっぱんしゅうろう しゅうろうさき あと なや かか
確かに、一般就 労とか就 労先につながった後、いろんな悩みを抱えながらというところについては、様々な相談窓口とか機関等々あるかと思いますが、まず就 労選択支援の実施ということに限っていえば、今回、就 労選択支援事業所に配置される就 労選択支援員という名称ですが、そういった方が配置されます。その方については、国の就 労選択支援の専門の研修を受けていただいて、ご本人のアセスメントの手法ですとか、それこそ障害者雇用の仕組みもそうですし、実態等を含めて、専門的な研修を受けた方が配置されるということになっております。そうてい ひつよう
想定されるのは、そうした専門の支援員がご利用者に寄り添って支援をしていくということが必要になってくるかと思しますので、制度の趣旨をきちんと担保できるように、こちらのほうも事業所の方々とやりとりをさせていただきたいと思っています。

うちじまかいちょう
(内嶋会 長)

今、私も資料3を拝見しながら、あと委員のご質問への回答も伺いながら、こういうものかなと思っていたのですけれども、これはもともと国の制度ですから、横浜市が独自で作っていらっしゃるわけでもないで、市にどこまで申し上げていいのかというのは若干の疑問も自ら感じながらですが、これは基本的には、就労選択支援というぐらいですから、入りの部分のアセスメントを制度化してきちんとやろうと。特に、まずは就Bに入るところからは必ずこのアセスメントを経てから確実にいこうと。先ほど、就Bに入るパスポートではありませんという苦肉のご発言をされていたので、そうかというふうに思ったのですけれども、要するに、マッチングがきちんとできるようにということで、おそらく、国は、まず就Bからやり、2年後には就Aをやるという感じで制度設計をしているのだろうと。

先ほどの飯山委員や須山委員の事例は、多分、この制度にはぴたっと当てはまらない。なぜかという、入りのところでやるものなので、お辞めになってまた再就職というときには、もしかするとこの制度が使える可能性も出てくると思うのですが。これはどうも、とりあえず就B、就Aというところを集中的にアセスメントしていくというような制度設計を狙っているようなので、そうすると、どこまで手を広げられるのか。これはこの事業を担当する事業所のお力もあると思うので、就職してからのフォローアップは、この事業本来の趣旨からは外れていくのかなと、私はちらっと思っていました。

あと、就Bとか就Aに入りたいのだったらアセスメントしますよというのがこの制度だとすると、飯山委員からご質問があった、例えば、就Bとか就Aなんて行くつもりはございませんというような当事者の場合には、本人も使う気がないでしょうし、制度もそれはさすがに予定していないということになってしまう。そうすると、それこそ計画相談とかほかの支援者がこちらの制度に誘導していくような働きかけがないと、この制度そのものが単独でぐいぐいと当事者を引っ張っていくということころまでは想定していないのかなと、私は脇で見ながら思っていたのですが。

さっき堀内委員がおっしゃっていた、アセスメントが事実上今まで行われてきたようなものをがっちり制度化するところを狙いなのかなと思ったのですが、私が今発言した趣旨でもし間違っているところがあればご説明……なかなか横浜市からは言いにくいことですが、代わりに整理して申し上げるとこんなことになるのかなと思ったのですが、大体そんな感じでよろしいですか。

(野口係長)

はい。

(内嶋会長)

わかりました。私も実は最初に事務局から説明を受けたときに、よくわからない制度だなと思ったのですけれども、今、委員の皆さんのご発言を聞いて、なるほど、ピンポイントでそこに絞ってやっていく制度だということは理解をしました。それがいいか悪いは、これは国の制度なので、横浜市に申し上げて、横浜市が上に上げるということはできるかもしれませんが、横浜市自体がこれをいじることはなかなかできないので、この程度なのかなと思います。

岡村委員からも発言のご希望がありましたので、お待たせしました。

(岡村委員)

精神のメンバーにとって、就労選択支援というところを利用しないとB型に行けないというのは、この制度は結構負担になるのかなという感じがします。おそらく、B型で就労年間に3人以上出すという事業所はあまりないのではないかと。ということは、就労選択支援の利用に手を挙げた事業所でやるようになるのかなと思うのですが、精神の方は変化にすごく弱いというか、期限付きでそこを利用して、あなたはAだからAの事業所に行きなさいというふうに言われるのは、すごいハードルが高いというか、疲れるのではないかなと思っています。

今までは、ここの「全ての対象者」の①・②に当てはまる方がほとんどだったので、私はあまり問題は感じてはいないのですが、これからは必ず原則利用となると、どういう移行支援を利用したらいいのか。あと、B型としてはどういうところと連携をとっていったらいいのかなどということを考えていますが、そんなんでいいのかなとか、ちょっと考えました。

(野口係長)

B型の方々も、今回10月以降は横浜市内に就労選択支援の事業所が立ち上がってまいりますので、必然的に就労選択支援事業所の方からもB型のほうにご連絡がある場合もあるかと思えますし、そういった方々と連絡調整をしていただくということが想定されるかなと思います。

あと、精神の方には負担ではないかということもあったと思いますが、ただ、趣旨としては、いろんな選択肢と一緒に考えられるサービスとなっておりますので、その機会に、ご本人のどういうところが適性なのかどうかを含めて、ご本人の希望を、いろんな選択肢をお伝えしながら、意思決定をしていくというところで大事なサービスになってくるかと思えますので、対象の方についてはぜひご案内いただいて、希望されればお使いいただくということで、運用を進めていけたらなというふうに思っております。

(岡村委員)

もしこれを利用するとしたら、流れとしては、当事者の方は区のMSさんのところに最初に相談に行くという感じでしょうか。

(野口係長)

最終的には区役所のほうで支給決定をしていきますので、区のMSWのほうにご相談いただく。または、計画相談支援事業所を利用されている方については、そういった方々にもご相談いただきながら進めていくという形になるかと思えます。

(内嶋会長)

ほかにはいかがでしょうか。そしたら、飯山委員からお願いします。

(飯山委員)

しつこくで申し訳ないのですが、そうすると、さっき内嶋会長の話を聞いて、「あ、そうか」と少し腑に落ちたところがあるのですが、頭が古くて申し訳ないのですが、なかなかうまくいかないとき、就労支援センターで職能判定をしてもらったことがあったり、その昔、更生相談所で職能判定をやってもらっていて、私たちはあれはかなり頼りにしていたことがあって、6、7年前、本人の思いとマッチしなかったりしたときに、BにしてもAにしても一般就労にしても、どういう傾向が向いているか職能判定をやってもらったということがあったのですが、アセスメントというのは、更生相談所がやっていた職能判定みたいなイメージでいいのですか。

のぐちかかりちよう
(野口 係 長)

国のほうもアセスメントのマニュアルは数年前に出しているものがありまして、基本的には、作業場面などを通じて、就 労に関する項目についてチェックシートを作っておりますので、そういうアセスメントの手法に基づき適性について評価していくというものになります。

うちまかいちよう
(内嶋 会 長)

まだ制度が走っていないところもあるので、横浜市の答弁としても、多分そうだとするところまでしかおっしゃれないと思います。伺っていると、これは短期決戦ですよね。1か月しか支給されないということなので、そういう制度の立てつけをよく観察してご覧になっていただけると、この制度の狙いはある程度見えてくるかなと。1か月ですから、アセスメントをするにしても、事実上のマッチングにしても、1か月はあつという間にたちますので、かなりタイトかなと。現場でいろいろとサービスに関わっていただく横浜市としては、そのあたりは、短い期間で十分なアセスメントができないとかマッチングができないということがなるべく起こらないように、ぜひ、制度の運用に関してご尽力いただければと思います。

これから制度が動けば、こうしてほしいああしてほしいというご希望だとか疑問点が出てくると思いますので、またそういった機会にお伺いできればと思います。たくさんのご意見をありがとうございました。市も参考になったと思いますので、感謝申し上げます。

4 その他

うちまかいちよう
(内嶋 会 長)

それでは、報告事項1、2、3の意見交換が終わりましたので、その他は事務局のほうから何かございますか。よろしいですか。

最後に、全体を通して何かご質問やご意見がある委員の方がいらっしゃったらご発言をお願いしたいのですが、いかがでしょうか。奈良崎委員、お願いします。

ならさきいん
(奈良崎委員)

遅れたので、最初の第5期障害者プラン策定のグループインタビュー・当事者ワーキングについてお願いがあります。小さい団体、例えばうちみたいな本人活動の仲間とかも意見が言いたいけど、いつも、本人活動は横浜じゃないからできないのかね、という話を毎回私は言っていて、できたら、小さい団体にもお願いしたいです。

あと、私としては、もし、うちの会は無理だと思うのですが、できたら、一般企業の人たちにもぜひインタビューしてほしいので、各就労センターから、例えば、今養護学校の先生がいらっしゃるのですが、養護学校の現役の方たちにもインタビューしてもらっただけでも違うのかなと。いつも同じ団体ばかりなので、たまには新しい団体にも聞いてほしいというお願いです。

それともう一つお願いがあります。私、本当は坂田さんの前で言いたくないのですが、横浜市心身障害児者を守る会連盟は本人があまり参加していないので、できたら、親だったら親の会というふうに、多分、守る会連盟は親がメインなので、精神障害みたいに家族会とか書いてもらうとうれしいなと。知的の本人は、最近当事者が多くなったし、当事者の声を拾ってくれているので、できたらそこを分散してもらうとうれしいのかなと。たまに、知的障害の団体の会といながら、知的障害の本人は会議に参加していないよね、でも、括弧して親なんだよねというの

	<p> <small>わたし</small> <small>いくせい</small> <small>かい</small> <small>おや</small> <small>ほんにん</small> <small>わ</small> <small>ねが</small> <small>さいきん</small> <small>わ</small> <small>が</small> <small>あ</small> <small>っ</small> <small>て</small> <small>、</small> <small>そ</small> <small>れ</small> <small>で</small> <small>私</small> <small>は</small> <small>育</small> <small>成</small> <small>会</small> <small>は</small> <small>親</small> <small>と</small> <small>本</small> <small>人</small> <small>と</small> <small>分</small> <small>け</small> <small>て</small> <small>ほ</small> <small>し</small> <small>い</small> <small>と</small> <small>お</small> <small>願</small> <small>い</small> <small>を</small> <small>し</small> <small>て</small> <small>、</small> <small>最</small> <small>近</small> <small>ち</small> <small>ょ</small> <small>こ</small> <small>ち</small> <small>ょ</small> <small>こ</small> <small>分</small> <small>け</small> <small>て</small> <small>も</small> <small>ら</small> <small>っ</small> <small>て</small> <small>、</small> <small>例</small> <small>え</small> <small>ば</small> <small>本</small> <small>人</small> <small>部</small> <small>会</small> <small>の</small> <small>代</small> <small>表</small> <small>の</small> <small>本</small> <small>人</small> <small>さ</small> <small>ん</small> <small>と</small> <small>い</small> <small>う</small> <small>ふ</small> <small>う</small> <small>に</small> <small>分</small> <small>け</small> <small>て</small> <small>も</small> <small>ら</small> <small>っ</small> <small>て</small> <small>い</small> <small>る</small> <small>の</small> <small>で</small> <small>、</small> <small>そ</small> <small>う</small> <small>い</small> <small>う</small> <small>ふ</small> <small>う</small> <small>に</small> <small>し</small> <small>て</small> <small>も</small> <small>ら</small> <small>う</small> <small>と</small> <small>う</small> <small>れ</small> <small>い</small> <small>し</small> <small>い</small> <small>で</small> <small>す</small> <small>。</small> <small>以</small> <small>上</small> <small>で</small> <small>す</small> <small>。</small> <small>うちまかいちょう</small> <small>(内嶋会長)</small> <small>いま</small> <small>し</small> <small>たい</small> <small>いけん</small> <small>今</small> <small>の</small> <small>は</small> <small>市</small> <small>に</small> <small>対</small> <small>す</small> <small>る</small> <small>ご</small> <small>意</small> <small>見</small> <small>と</small> <small>い</small> <small>う</small> <small>こ</small> <small>と</small> <small>で</small> <small>い</small> <small>い</small> <small>で</small> <small>す</small> <small>か</small> <small>。</small> <small>ならきいん</small> <small>(奈良崎委員)</small> <small>はい</small> <small>。</small> <small>うちまかいちょう</small> <small>(内嶋会長)</small> <small>なにか</small> <small>し</small> <small>の</small> <small>ほう</small> <small>か</small> <small>ら</small> <small>コ</small> <small>メ</small> <small>ン</small> <small>ト</small> <small>あ</small> <small>り</small> <small>ま</small> <small>す</small> <small>か</small> <small>。</small> <small>ご</small> <small>意</small> <small>見</small> <small>と</small> <small>い</small> <small>う</small> <small>こ</small> <small>と</small> <small>で</small> <small>よ</small> <small>ろ</small> <small>し</small> <small>い</small> <small>で</small> <small>す</small> <small>か</small> <small>。</small> <small>あ</small> <small>り</small> <small>が</small> <small>と</small> <small>う</small> <small>ご</small> <small>ざ</small> <small>い</small> <small>ま</small> <small>す</small> <small>。</small> <small>ほ</small> <small>か</small> <small>に</small> <small>は</small> <small>い</small> <small>か</small> <small>が</small> <small>で</small> <small>し</small> <small>ょう</small> <small>か</small> <small>。</small> <small>よ</small> <small>ろ</small> <small>し</small> <small>い</small> <small>で</small> <small>す</small> <small>か</small> <small>。</small> <small>そ</small> <small>れ</small> <small>で</small> <small>は</small> <small>、</small> <small>長</small> <small>い</small> <small>時</small> <small>間</small> <small>、</small> <small>意</small> <small>見</small> <small>交</small> <small>換</small> <small>に</small> <small>お</small> <small>つ</small> <small>き</small> <small>あ</small> <small>い</small> <small>い</small> <small>た</small> <small>だ</small> <small>き</small> <small>、</small> <small>あ</small> <small>り</small> <small>が</small> <small>と</small> <small>う</small> <small>ご</small> <small>ざ</small> <small>い</small> <small>ま</small> <small>し</small> <small>た</small> <small>。</small> <small>議</small> <small>事</small> <small>内</small> <small>容</small> <small>が</small> <small>すべ</small> <small>お</small> <small>お</small> <small>わ</small> <small>り</small> <small>ま</small> <small>し</small> <small>た</small> <small>の</small> <small>で</small> <small>、</small> <small>事</small> <small>務</small> <small>局</small> <small>の</small> <small>ほう</small> <small>に</small> <small>お</small> <small>返</small> <small>し</small> <small>ま</small> <small>す</small> <small>。</small> <small>かわばたかりちょう</small> <small>(川端係長)</small> <small>ほんじつ</small> <small>かつぱつ</small> <small>ぎろん</small> <small>いけん</small> <small>ほんじつ</small> <small>ぶかい</small> <small>いじょう</small> <small>本</small> <small>日</small> <small>も</small> <small>活</small> <small>発</small> <small>な</small> <small>ご</small> <small>議</small> <small>論</small> <small>と</small> <small>ご</small> <small>意</small> <small>見</small> <small>を</small> <small>い</small> <small>た</small> <small>だ</small> <small>き</small> <small>ま</small> <small>し</small> <small>て</small> <small>、</small> <small>あ</small> <small>り</small> <small>が</small> <small>と</small> <small>う</small> <small>ご</small> <small>ざ</small> <small>い</small> <small>ま</small> <small>し</small> <small>た</small> <small>。</small> <small>本</small> <small>日</small> <small>の</small> <small>部</small> <small>会</small> <small>は</small> <small>以</small> <small>上</small> <small>と</small> <small>な</small> <small>り</small> <small>ま</small> <small>す</small> <small>。</small> <small>い</small> <small>た</small> <small>だ</small> <small>き</small> <small>ま</small> <small>し</small> <small>た</small> <small>ご</small> <small>意</small> <small>見</small> <small>を</small> <small>も</small> <small>と</small> <small>に</small> <small>、</small> <small>施</small> <small>策</small> <small>の</small> <small>検</small> <small>討</small> <small>さ</small> <small>せ</small> <small>て</small> <small>い</small> <small>た</small> <small>だ</small> <small>け</small> <small>れ</small> <small>ば</small> <small>と</small> <small>思</small> <small>っ</small> <small>て</small> <small>お</small> <small>り</small> <small>ま</small> <small>す</small> <small>。</small> <small>じかい</small> <small>かいぎ</small> <small>しょうがいしゃしきくすいしんきようぎかい</small> <small>かん</small> <small>ひ</small> <small>がつ</small> <small>にち</small> <small>次</small> <small>回</small> <small>の</small> <small>会</small> <small>議</small> <small>で</small> <small>す</small> <small>が</small> <small>、</small> <small>障</small> <small>害</small> <small>者</small> <small>施</small> <small>策</small> <small>推</small> <small>進</small> <small>協</small> <small>議</small> <small>会</small> <small>に</small> <small>関</small> <small>し</small> <small>ま</small> <small>し</small> <small>て</small> <small>は</small> <small>、</small> <small>日</small> <small>に</small> <small>ち</small> <small>を</small> <small>6</small> <small>月</small> <small>25</small> <small>日</small> <small>、</small> <small>も</small> <small>し</small> <small>く</small> <small>は</small> <small>30</small> <small>にち</small> <small>みなさま</small> <small>うかが</small> <small>だい</small> <small>かいしやうがいしゃしきくけんとうぶかい</small> <small>日</small> <small>で</small> <small>皆</small> <small>様</small> <small>に</small> <small>お</small> <small>伺</small> <small>い</small> <small>し</small> <small>て</small> <small>い</small> <small>る</small> <small>と</small> <small>こ</small> <small>ろ</small> <small>で</small> <small>ご</small> <small>ざ</small> <small>い</small> <small>ま</small> <small>す</small> <small>。</small> <small>ま</small> <small>た</small> <small>、</small> <small>第</small> <small>2</small> <small>回</small> <small>障</small> <small>害</small> <small>者</small> <small>施</small> <small>策</small> <small>検</small> <small>討</small> <small>部</small> <small>会</small> <small>に</small> <small>つ</small> <small>き</small> <small>ま</small> <small>し</small> <small>て</small> <small>は</small> <small>、</small> <small>12</small> <small>月</small> <small>頃</small> <small>を</small> <small>予</small> <small>定</small> <small>し</small> <small>て</small> <small>お</small> <small>り</small> <small>ま</small> <small>す</small> <small>の</small> <small>で</small> <small>、</small> <small>改</small> <small>め</small> <small>て</small> <small>皆</small> <small>様</small> <small>に</small> <small>日</small> <small>程</small> <small>を</small> <small>確</small> <small>認</small> <small>さ</small> <small>せ</small> <small>て</small> <small>い</small> <small>た</small> <small>だ</small> <small>き</small> <small>た</small> <small>い</small> <small>と</small> <small>思</small> <small>い</small> <small>ま</small> <small>す</small> <small>。</small> <small>へい</small> <small>かい</small> <small>閉</small> <small>会</small> <small>かわばたかりちょう</small> <small>(川端係長)</small> <small>そ</small> <small>れ</small> <small>で</small> <small>は</small> <small>、</small> <small>以</small> <small>上</small> <small>を</small> <small>も</small> <small>ち</small> <small>ま</small> <small>し</small> <small>て</small> <small>、</small> <small>本</small> <small>日</small> <small>の</small> <small>会</small> <small>議</small> <small>を</small> <small>終</small> <small>了</small> <small>し</small> <small>た</small> <small>し</small> <small>ま</small> <small>す</small> <small>。</small> <small>あ</small> <small>り</small> <small>が</small> <small>と</small> <small>う</small> <small>ご</small> <small>ざ</small> <small>い</small> <small>ま</small> <small>し</small> <small>た</small> <small>。</small> </p>
<p> <small>しりよう</small> <small>だい</small> <small>き</small> <small>しょうがいしゃ</small> <small>さくてい</small> <small>ぐるーぷ</small> <small>いんたびゅー</small> <small>た</small> <small>び</small> <small>ゆーとう</small> <small>じっし</small> <small>資</small> <small>料</small> <small>1</small> <small>第</small> <small>5</small> <small>期</small> <small>障</small> <small>害</small> <small>者</small> <small>プ</small> <small>ラ</small> <small>ン</small> <small>策</small> <small>定</small> <small>に</small> <small>か</small> <small>か</small> <small>る</small> <small>グ</small> <small>ル</small> <small>ー</small> <small>プ</small> <small>イ</small> <small>ン</small> <small>タ</small> <small>ビ</small> <small>ュ</small> <small>ー</small> <small>等</small> <small>の</small> <small>実</small> <small>施</small> <small>に</small> <small>つ</small> <small>い</small> <small>て</small> <small>しりよう</small> <small>れい</small> <small>わ</small> <small>ねん</small> <small>ど</small> <small>かん</small> <small>しん</small> <small>とう</small> <small>せ</small> <small>つ</small> <small>ち</small> <small>す</small> <small>い</small> <small>しん</small> <small>じ</small> <small>ぎ</small> <small>よう</small> <small>お</small> <small>よ</small> <small>か</small> <small>ぐ</small> <small>てん</small> <small>とう</small> <small>ぼう</small> <small>し</small> <small>たい</small> <small>さく</small> <small>じょ</small> <small>せい</small> <small>じ</small> <small>ぎ</small> <small>よう</small> <small>あん</small> <small>ない</small> <small>資</small> <small>料</small> <small>2</small> <small>令</small> <small>和</small> <small>7</small> <small>年</small> <small>度</small> <small>感</small> <small>震</small> <small>ブ</small> <small>レ</small> <small>ー</small> <small>カ</small> <small>ー</small> <small>等</small> <small>設</small> <small>置</small> <small>推</small> <small>進</small> <small>事</small> <small>業</small> <small>及</small> <small>び</small> <small>家</small> <small>具</small> <small>転</small> <small>倒</small> <small>防</small> <small>止</small> <small>対</small> <small>策</small> <small>助</small> <small>成</small> <small>事</small> <small>業</small> <small>の</small> <small>ご</small> <small>案</small> <small>内</small> <small>に</small> <small>つ</small> <small>い</small> <small>て</small> <small>しりよう</small> <small>しゅう</small> <small>ろう</small> <small>せん</small> <small>たく</small> <small>しえん</small> <small>資</small> <small>料</small> <small>3</small> <small>就</small> <small>労</small> <small>選</small> <small>択</small> <small>支</small> <small>援</small> <small>に</small> <small>つ</small> <small>い</small> <small>て</small> </p>	